

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

北栄町議会議長 井上 信一郎 様

(教育民生常任委員会)

北栄町議会議員

浜本 武代

平成26年北栄町議会 委員会研修報告書

1	日時	平成26年10月30日(木)～31日(金) 1泊2日	
2	調査地	滋賀県大津市 ・ 滋賀県高島市 ・ 滋賀県長浜市	
3	調査内容	(内容)	(場所)
		(1) 県立美術館の状況について	滋賀県立近代美術館
		(2) 地域支えあい作りの取り組みについて	滋賀県高島市社会福祉協議会
		(3) 避難支援、見守り支えあい制度について	滋賀県長浜市役所
4	調査結果 又は概要 (意見・感想)	(1) 県立美術館の状況について (近代美術館)	
		大津市津廻田、敷地面積 18,288.8m ² 昭和58年10月6日建設 総工費 約85億円 入館料 600円 開館30周年特別展「遊覧と散歩」の大企画展に入館料1,100円 美術館もお慶も大企画展もすばらしい感謝でした。	
		(2) 地域支えあい作りの取り組みについて(高島市社会福祉協議会)	
		平成23年から毎年5月に「住民福祉懇話会(自治会長・民生委員・福祉推進員)」を開催し、手上げ方式で204自治会中74自治会が取り組んでいる。 行政(包括支援センター)と連携して、地域にむかき、住民に向きあって、現状から10年後を見据えた状況も理解し、地域ぐるみで取り組み、年齢に関係なく「笑にほめる人」を日常から見守るボランティアと育んでいる。(専門職の本の力を借り) 高齢者や笑にほめる人が孤立しないように、サロン100円以下など居場所づくりも実施している。	

(3) 避難支援、見守り支えあい制度について(長浜市健康福祉部社会福祉課)

長浜市

平成18年に1市2町で合併し、平成22年に6町と合併

人口 122,310人

要援護者 10,821人

平成20年、避難支援、見守り支えあいの制度を創設

～「みんなのつぎあいが」モットーで生きる～

要援護者全員に登録し、申請書を送り、自主申告制とし、平成26年1月末現在2380人が登録した。

登録者1人1人の個別計画が作成され、この情報を自治会長、民生委員、避難支援者、市、社会福祉協議会が共有する。

要援護者の見守り制度ができた事で、地域で声かけやすくなり、つながりができた。

課題は、自治会によって取り組みの温度差がある。また自治会長、民生委員交代時の確実な引き継ぎが大切である。

4 調査結果
又は概要
(意見・感想)

(4) まとめ

超高齢化社会と単身者の安心、安全な生活を考えるとき、自治会毎に活動にむかうためには、高島社会のように全体に情報を流し、手取り方式によって、申告された地域に出向き、住民の方と話し合うことが大切である。

この話し合いの中で現状と10年後を想像し住民の方々に理解してもらう、それぞれのやりやすいように取り組んでもらう。サンや100円カネはび年代を越えて集える体制が深いのも予防になる。

地域の支援できる人のボランティア育成や民生委員の役割の大きさも再認識した。

美術館はすばらしく、身近に文化に触れ、想像力、感性を養い、まちづくり、人材育成、活性化にもつながる重要な施設である。

提出締切(平成26年11月10日)